



UBEマシナリーグループは、2023年度に制定したパーパス「地球環境に配慮し、お客様の求める価値を追求し続けることで、来たるべき社会の実現に貢献する」に基づいて事業活動を行います。

長期ビジョン

自立性と競争力を高めながら収益基盤の強化を進め、事業価値の向上を追求

目指す姿:ブランド力のある製品とアフターサービスで顧客に貢献

- マーケットニーズを実現する製品を継続的に開発
- ICTやAIを活用したアフターサービスをグローバルに提供することでDX化を実現

主要製品・事業

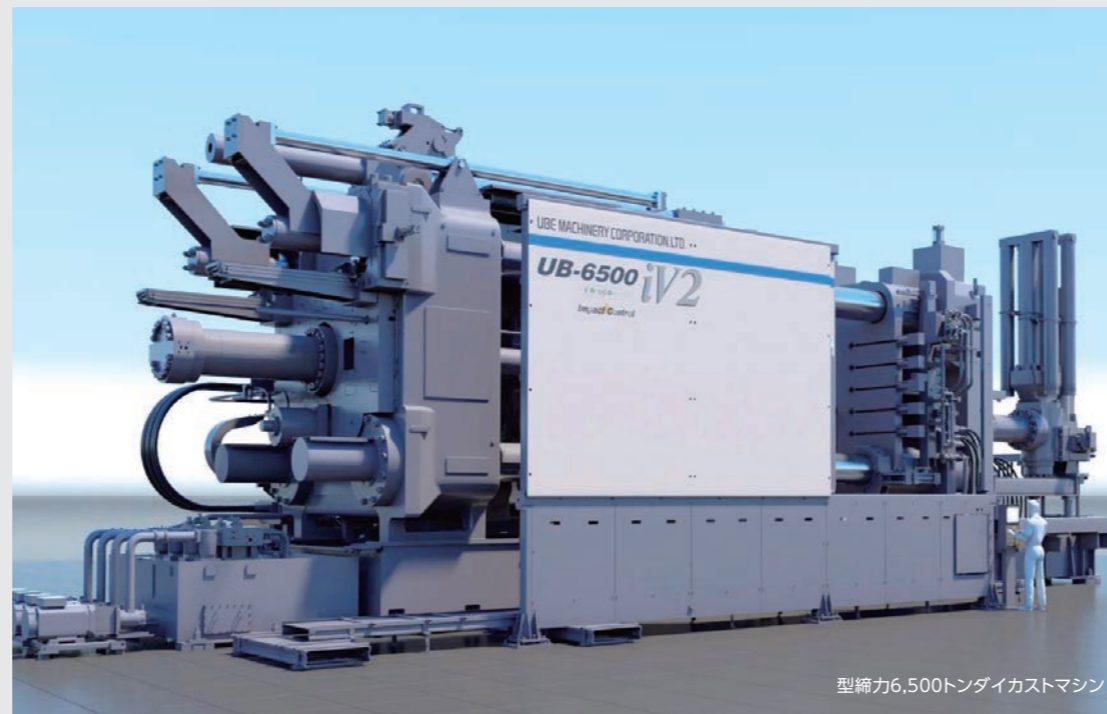
- 成形機 (ダイカストマシン、押出プレス、射出成形機)
- 産業機械 (窯業機、粉碎機、運搬機、除塵機、破碎機、化学機器)、橋梁、グラブバケット
- アフターサービス
- 製鋼品 (ビレット、鋳造品)
- 制御基板

中期経営計画における事業方針

自動車のxEV化やカーボンニュートラル対応など、グローバルに拡大するマーケットニーズの取り込みにより製品事業の収益向上を目指すとともに、提案型メニュー、他社製品への展開によりアフターサービスの拡充を目指します。

また、UBEマシナリーグループとしてコーポレートガバナンス体制の強化を推進し、自立した事業運営体制を確立します。

数値目標 (億円)	2022		2023		2024	
	原計画	実績	原計画	実績	原計画	予想
売上高	1,060	969	980	969	1,000	1,040
営業利益	50	52	55	72	60	70



型締力6,500トンダイカストマシン

2024年度の事業戦略

成形機事業

ダイカストマシンでは、自動車のボディを一体成形し車体製造コストを低減する工法として「ギガキャスト」が注目されています。良品率向上、設備稼働率向上等の機能を備えたギガキャスト用超大型ダイカストマシンを提供し、お客様のご要望に応えるとともに自動車のxEV化に貢献します。2023年度に受注した国内最大級の型締力6,500トンダイカストマシンを皮切りに、今後ますます需要が増大すると想定される超大型ダイカストマシンの生産能力拡大を推進します。

射出成形機でも同様にxEV化に伴う樹脂部品の大型化、多機能化ニーズに対応した超大型機などの新製品や、省力化・自動化を実現する射出成形システムを創出するとともに、日用品や産業資材の分野で注目度の高いリサイクル成形など環境貢献型技術の開発を進め、時代の要請に対応します。また、UBEマシナリーグループが強みとする北米事業のさらなる強化に加えて、伸長するインド市場での現地体制強化によるグローバル展開を推し進めます。

産機事業

カーボンニュートラルなど環境関連マーケットニーズを実現する製品やアフターサービスの提供に

SWOT分析

<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動車や電力、セメント、製鉄等の基幹産業に多数の納入実績があり、お客様より高く評価されている ● 国内外の多くの拠点により、開発からアフターサービスに至るまで、多様なお客様のニーズに迅速に応えることができる ● 国内有数の大型加工設備を有し、熟練した技術・技能者を揃え、お客様の信頼に応えるモノづくりを実現している 	<p>弱み(とその対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多種多様な製品を提供している一方で、各製品の事業規模が小さく、景気の変動に左右されやすい 対策:今後伸長・成長が期待できる環境分野などに向けた技術開発・市場開拓を推し進め、アライアンスも視野に景気に左右されないコア事業の創成に注力する
<p>機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カーボンニュートラル対応や製品リサイクルなど環境貢献への社会全体の取り組みが加速している ● 自動車のxEV化に対応して超大型成形機を生産できる工場を有している ● グローバル、他社製品など幅広い市場で、さまざまなアフターサービス・サポートが求められている 	<p>脅威(とその対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カーボンニュートラル対応やDXなどの分野で技術開発が進む中、製品価値や技術ニーズ要求への対応が遅れ、販売低迷など企業価値への悪影響が懸念される 対策:お客様などからタイムリーな情報収集を行い、技術開発や体制整備を推し進めていく ● 原材料価格の高騰や電気部品の長納期化などによる価格面、納期面での競争激化やお客様の設備投資判断の遅れなどの影響が考えられる 対策:製品のコストダウン、リードタイムの短縮や政府補助金活用などの提案を行い、ビジネスチャンスを確実につかむ

よる事業拡大を推進します。また、長期脱炭素電源オークションなどの政府補助金制度を活用した大型設備投資案件にもさまざまな機器を提供します。

陸機、舶機ではアフターサービスでの事業拡大を軸としながら、新規事業の開拓を推進します。

アフターサービス

RCU(「リペア」・「コンサルティング」・「アップグレード」)というUBEマシナリーグループのアフターサービスカテゴリに基づき、各サービスのさらなる収益拡大を推進します。「リペアサービス」においては、補用品をタイムリーに供給できる体制や、エンジニアが迅速に動ける体制強化を推進し、さらなる顧客満足度の向上に努めます。加えて、ICTを活用した提案型サービスや他社製品のサービス取り込みにより事業の拡大を目指します。

製鋼事業

強みである特殊鋼や特殊サイズのビレットと大型鋳鋼品をともに製造できる生産能力を活かしながら、量から質への事業構造への転換を継続し、数少ない鋳造品メーカーとして新規分野への参入に挑戦します。

サステナビリティ関連の取り組み

xEV化や省エネルギーに資する設備およびアフターサービス商品の開発と市場への供給、リサイクル材料使用率を向上させるプロセス・設備の開発、洋上風力・水力発電・アンモニア・バイオマス関連機器の提供、リサイクルや医療・産業廃棄物無害化処理、CO₂フリー電力導入など環境負荷低減の取り組みを継続・推進し、地域・社会に貢献します。

アフターサービスによる機械事業収益の安定、拡大

